

## (概要版) 都城市こども計画

## 第1章 計画の基本事項

## ■計画策定の趣旨

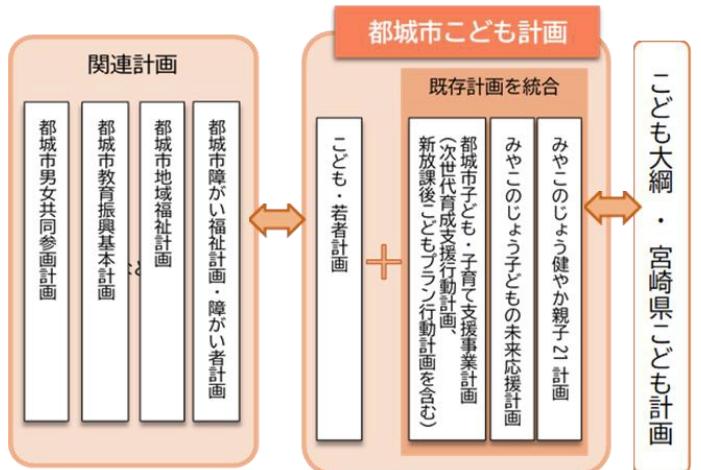
すべての子ども・若者が、将来にわたって、幸福な生活を送ることができる「子どもまんなか社会」の実現を目指して、子ども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための計画

## ■計画期間

令和7年度から令和11年度 5年間

## ■ 計画の位置づけ

現行の3つのこどもに関する計画を統合し、こども・若者計画の視点を加え策定



## 第2章 都城市のこども・若者に関する現状

■出生数は、年々減少しているものの、移住施策や3つの無料化の子育て施策等により、こどもや子育て世代が増えていることから、更なる子育てしやすい環境づくりが必要

- 保護者へのニーズ調査・生活状況調査から  
・今後期待する市の施策は、「小児医療体制の整備」、「高校や大学への経済的負担軽減」「子どもの遊ぶ場所や居場所づくり」のニーズが高かった。

## ■ 子ども・若者に対するWEBアンケート調査から

- ・「思い切り運動ができる広い公園」「暑い日や寒い日、雨の日でも室内で動き回って遊べる場所」などを望む意見が多かった。

## 第3章 計画の理念及び目標と施策体系

## ■ 基本理念

二どもの思いを受け止め 人間力あふれるひとを育てるまち  
こどもまんなか みやこのじょう

## ■ 基本目標

1. こども・若者の健やかな成長
  2. 困難な環境にあるこども・若者への支援
  3. 地域におけるこども・若者、子育て家庭の支援
  4. ライフステージに応じた切れ目のない支援(こどもの誕生前から幼児期、学童期・思春期、青年期、子育て期までの支援)

## 第4章 施策の内容

基本目標	施策の方向性
ライフステージ共通施策	1 こども・若者の健やかな成長 2 困難な環境にあるこども・若者への支援 3 地域におけるこども・若者、子育て家庭への支援
	1 こどもの権利の保障と意見聴取の取組 2 こども・若者の居場所づくり 3 総合的な相談体制の充実
	1 こども・若者の貧困問題への取組 2 障がいのあるこども・若者やその家庭への支援 3 いじめ、不登校、ひきこもり、ヤングケアラーに関するこども・若者への支援 4 児童虐待防止対策の推進
	1 こども・若者の安全確保とトラブルの防止 2 「地域共生社会の実現」に向けた取組
	4 こどもの誕生前から幼児期の支援 5 学童期・思春期の支援
	1 妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目のない保健・医療の確保 2 妊娠・出産・子育て環境の整備 3 保育環境の充実
	1 学校教育の充実と環境整備 2 不登校のこどもへの支援 3 思春期の心身の健康と保健対策の充実
ライフステージごとの施策	6 青年期の支援 7 子育て期の支援
	1 高等教育の修学支援と充実 2 若者の経済的自立と就労支援 3 結婚、妊娠、出産等を希望する若者への支援 4 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談支援
	1 相談体制・情報提供の充実 2 子育てや教育に関する経済的負担の軽減 3 共働き・共育ての推進と男性の家事・子育てへの主体的な参画促進

## 第5章 量の見込みと確保方策

### ■子ども・子育て支援法に基づく項目を記載

- 幼児保育・教育の量の見込みと確保方策
  - 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策
  - 放課後児童対策 など

## 第6章 計画の推進

## ■計画の進捗状況の点検・評価のため成果指標を設定

- ## ○こども・若者の視点に立った成果指標

指標	基準値 R6年度	目標値 R11年度
「今、幸せである」と思う こども・若者の割合	79.1%	89.1%
「自分のことが好きだ」と 思うこども・若者の割合	54.4%	64.4%
「誰とでも友達になれる (自分には社交性がある)」と思 うこども・若者の割合	67.7%	77.7%
自分には「自分らしさがあ る」と思うこども・若者の 割合	71.0%	81.0%
「自分が大人になった時に 幸せになっている(自分の 将来に明るい希望を持って いる)」と思 うこども・若 者の割合	73.5%	83.5%

○基本目標に向けた施策・取組の成果目標として  
45項目設定